

第12回書道パフォーマンス甲子園
入賞校 得点・講評一覧

演技順	学校名	総合得点	審査員名	講評
優勝	長野県 松本蟻ヶ崎 高等学校	379	審査員A	等身大の問題意識がテーマとなって自分達の言葉で訴えられた。中央の篆書四字の本格的出来ばえ。隷書も安定感に満ちている。黒、赤、竜の緑色など彩色のバランスも目をひいた。
			審査員B	デジタルと伝統とのせめぎ合いをテーマに一筆一筆に魂を込めて創り上げる演技に魅了された。年間60回以上のパフォーマンスの経験に裏打ちされた見事な演技だった。
			審査員C	スマホが小道具として効果的に使用されていた。ストーリーも楽しかった。文字がとにかく上手い。全員のレベルが高い。お見事でした。仕上がった作品は素晴らしかったです。練習の成果が出たと思います。
			審査員D	篆書体表現、始筆は順筆で書いているが逆筆で書くことが望ましい。力強くまとまった作品です。
			審査員E	現代的なテーマを、自分達の決意表明へと感動的に表現していたと思う。伝えたいことも明確で、演技も迫力があってとても素晴らしい。
			審査員F	感動しました！見事な書道パフォーマンスでした！
			審査員G	強いメッセージが伝わってくる迫力のあるパフォーマンスだ。キビキビとした所作が「スマホより手書きが大切」という熱い思いと呼応して見る側に訴えかけてくる。スマホを倒すイントロも面白く、最後に完成した「書志貫徹」の書も素晴らしい！
			審査員H	紙面ののかりや筆の軌跡、グラデーションなど美しく、デジタルでない手書きの世界って素晴らしいなと、ひしひしと伝わってきました。小道具も効果的だったと思います。後半は、人間の力というのが強く印象付けられ、派手な動きはないのにひきつけられました。ラストのストーリーも良かったです。
準優勝	福岡県立 八幡中央 高等学校	358	審査員A	画狂人に真っ向から対決を挑む墨狂人達。大変存在感あふれる作。今日一番野性的な内容。用いる筆の工夫も予想外で多角度からみて大いに感嘆した。全員の、姿が堂々として輝いている。この性格の発表からいえば筆順は何ら問題なく、下から、逆から書いてもよしとしたい。
			審査員B	さすがの貫禄。書のレベルの高さ、演技力、新しい試みへの挑戦、全て完璧の出来。
			審査員C	力強いパフォーマンスでした。墨の字が誤字のように見えた。藍色の点から紙面を立てた時、墨が飛び散ったときは効果的でした。白い墨で藍色の上に点を書いていたのが模様になっていたのは見事でした。長い筆も使いにくかったでしょう。頑張りました。
			審査員D	書道が好きなんだ、が伝わる作。ダイナミックな表現に感動しました。「墨狂」の「墨」の筆順が正確であれば完璧だったと思います。
			審査員E	迫力に圧倒された。思い切りの良い演技が見ていて気持ち良い。出来上がった書からも力強い思いが伝わってくる。
			審査員F	新しい挑戦を盛り込んで次はどうするんだろう！と楽しく見させてもらいました！青の墨をまいてはねさせたのはおどろきました！
			審査員G	実に力強くダイナミックなパフォーマンスだ。三味線の音色に三味線型の墨入れも面白いアイデア。紙を立てて書く場面は迫力！少し残念なのはやや一本調子で終わった感があることだ。
			審査員H	波の書き方、すばらしい。紙の上での新たな工夫、オリジナリティが素晴らしい。墨狂を体現、筆使い、体の動き、展開の緩急、熱情、圧倒的なパフォーマンスがきちんと書に落ちている。優勝校なのに守りに入らず、攻めの姿勢がかっこいい。

第12回書道パフォーマンス甲子園
入賞校 得点・講評一覧

演技順	学校名	総合得点	審査員名	講評
3位	香川県立高松商業高等学校	357	審査員A	「共存」二字、木簡調の出来に驚きました。大画面のまとめ方がすばらしい。現代を生きる若者が今日の大きな問題点をどう捉え克服しようとするのか、誠に興味深く見た。
			審査員B	現代に訴えるテーマ性を、演技にも書風にも十分に表現し、会場全体を引きこんで魅了した。自分たちの主張が確固としているから見事なパフォーマンスが完成することを、目の当たりに見つけた演技だった。
			審査員C	ロープを使ったパフォーマンスが独創性がありました。いつもながら工夫されて見事でした。大字は迫力があり良かったです。全員の息が合った演技でした。
			審査員D	高校生の感性で新しい文化との共存。意図の伝わる作品です。人間とAIの特徴の書き分け部分、文字の色を変えとか、位置を変えとか、文字の表現書体に変化させる工夫があるとよかったです。
			審査員E	現代がさけて通れないテーマを高校生らしく、とても面白く見た。ラストに向けての流れも、ヒモ等の色々な工夫が見られ素晴らしい。
			審査員F	AIという難しいテーマに挑戦してそれをよく表現していました！そして自分たちのパフォーマンスの中にちゃんと共存という答えをみつけて書としてのメッセージも素晴らしいです！しいていうなら僕は書の審査員ではないですが高松商業の力があれば紙面をもっと美しく強くできたのではないかと感じたのでそのあたりもさらに磨いてください！来年も楽しみにしています！
			審査員G	AIと人間という現代的なテーマに取り組んだ姿は高く評価したい。独特の動きのダンスも見事。欲を言えばAIと人間が共存してゆくという理想をストーリー性を持たせて表現できると完成されたパフォーマンスになったのではないかな。
			審査員H	ひもをモチーフにしたパフォーマンス、とても面白いし、途中でバーストする様子も非常にわかりやすく美しい。最後にそのひもの筆で書くんだった！最高。モチーフの見つけ方とアレンジが素晴らしい。AIに負けるな！じゃなくて共存というのがいい。パフォーマンス、音楽、書のバランスが、ぶつとんだテーマなのにバランスを見事にとっていて面白かった。
審査員特別賞	本庄東高等学校	354	審査員A	分かりやすい脚本、とにかく見ていて会場全体が楽しめたと思う。主人公の女性だが、とくに活躍が今日これまでの発表で一番目立っており、印象に強く残る。紙面の古典に立脚した造像記風の楷書、「恋」の旧字体、篆書が用いられたりと深味と多彩さが盛り込まれ、この点も秀逸に思った。
			審査員B	テーマ性にユニバーサルの視点や共生、個の尊重といった観点を盛り込みながらも、全体的にポップな雰囲気演技切り、いつの間にか充実した書作品が仕上がっていたという、摩訶不思議なパフォーマンス。これまでにない魅力たっぷりの好演技。
			審査員C	ストーリー性があった面白かった。全員の声がよく出ていた。最後の方で一人で語った声が音楽に消されてしまったのが惜しかった。文字は正確に上手く堂々と書けていた。特に文字が上手かった。チームワークがすごく良かった。
			審査員D	力強くまとめました。楽しそうに、「楽しみながらと組む」これが一番なのですが、文字通り楽しんで制作した作品です。
			審査員E	演劇的な構成をここまで使った作品は初めてではないだろうか。そのチャレンジはすばらしい。等身大の自分達をととても面白く表現していたと思う。
			審査員F	笑わせてくれました！最高！！やりきったみんなが本当に輝いていました！所作の美しさは課題なので来年に向けてそこは磨いていくとさらに伸びます！
			審査員G	とても楽しいパフォーマンスだ。コミカルなコント仕立てのストーリーが素晴らしい！今までにない構成がすごく新鮮。型破りだけど最後は見事にまとまる素敵な演技だった。まさに「書道にガチ恋！墨の広がる物語」である！
			審査員H	何がはじまるんだろう？と引き込まれ、パワー全開で最後まで勢いが落ちなかった。今時のテーマですね、映画になりそうな「書道にガチ恋」かけ合いの言葉も素晴らしい。こういう独創性は初めて見ます。大好きです、楽しかった。

第12回書道パフォーマンス甲子園
入賞校 得点・講評一覧

演技順	学校名	総合得点	審査員名	講評
紫舟賞	福岡県立 大牟田北 高等学校	356	審査員A	紙面をノート・本に見立てたアイデア賞。アルファベットの筆の表現も大胆、見応えあった。小道具の活用も楽しい。
			審査員B	一冊の本を全員の気持ちを一つにして綴る。それを観客が開く演出。テーマ、演技の工夫満載で感服。横書きの構成であったが足場を用意して書いた。書のレベルも高い。
			審査員C	全員の息が合ってダンスもカッコよかった。帽子の墨入れ、ステッキの筆など工夫されていた。線の表紙を貼るのが左右反対の方が良かったですね。文字は全員レベルが高い実力者揃いです。
			審査員D	独創的な構成と書表現、パフォーマンス、以上の3点が見事に調和した素晴らしい作品。感動しました。
			審査員E	随所に工夫があり、ラストまで一気に見せる構成も面白い。等身大の高校生らしさも出ていてとても良かったと思う。
			審査員F	伝えたいメッセージを全員で一丸となって伝えてくれて心に届きました！来年に向けて所作の美しさを磨けばさらに伸びます！
			審査員G	白いノートが届きそれを自分たちで埋めてゆく、という物語性のある構成が素敵だ！そして黒で統一した衣装で踊るダンスもシャープで躍動感がある。ステッキが筆になり、ハットが墨入れになるアイデアもいい！そしてラストに完成作が実はノートの形になっているという！初出場とは思えない素晴らしいパフォーマンス！
			審査員H	初出場だが、新たな挑戦の多い作品。組み立てに様々な工夫を凝らしている。墨入れが帽子になっていたり、ステッキが筆になっていたり、細部へのこだわり、アイデアが面白い。グレイテストショーマンをベースにしているが、オリジナルのストーリーを作っているのがとても良い。
南海放送賞	上宮 高等学校	354	審査員A	人の動きが上下に高く動いているのに伴い、打点の高く効いた用筆のタッチに注目した。集団で完成させた一体感豊かな作品に仕上がった。最後「貫」大字の終画の演出に驚倒した。まさしく全体に生命感が一貫して通っている。
			審査員B	序盤、書に臨む「溜め」をじっくり演じてから入った所が好印象。書技に躍動感があり、書技の表現性を全面に出したパフォーマンスである。「自分自身の応援メッセージ」というが、1人1人が全員と心を合わせているのが伝わって来てすばらしい。
			審査員C	全員の動きがよく合っていた。熱意が伝わってきた演技でした。文字も美しく書いていました。「貫」の横画、最後に書いたのが印象的でした。淡墨で書いた上に、赤で重ねて文字を書いたのはおもしろかったです。
			審査員D	平面芸術の書を立体的に仕上げました。最後のネット(網)に書くという斬新な表現も新しい試みで工夫がよかった。
			審査員E	静から動、シンプルだけど全員の動きでみせてゆく構成も良い。思いを伝えようとする力強さが素晴らしい。その熱がきちんと伝わってきた。
			審査員F	書にも演技にも力があってものすごく感動しました！逆さに書いた「でけへん」も新しい挑戦で良かったです！
			審査員G	とても元気のいいパフォーマンス。幕を立てて書を書くスタイルも新鮮。ダンスもキビキビとしていて良かったが、欲を言えば演出にもうひと工夫あると完璧だったのではないかな。やや単調になってしまった感がある。
			審査員H	音楽の始まり方がいい。書の姿勢が静かながらも、激しくごめく躍動感がなお良い。応援団の動きと書の動きが気持ちよくシンクロしていて違和感がなかったのは画期的な気がする。激情が良かった。若い人が、これだけ真っすぐな思いを持っていることはよい事です。